

# ミニギャラリー

## ▼熊野高校

1年生・2年生 書道部

【評】平成14年度、広島県高等学校総合文化祭中央展、書道部門に出品した共同作品（約2m×3m）です。

書道部1・2年生がお互いに励まし合って、見事に完成させました。



(敬称略)

## ▼熊野高校 3年 大瀬戸 裕一

【評】この作品は、2002年度広島県高等学校デザインコンクールで入選した作品です。B全判パネルにアクリル絵の具で描いたカラフルな亀が、右往左往している様子をユニークに表現しており、全体の画面構成や色使いにとっても工夫した力作です。



## 熊野の自然 (161)

### ヤブツバキ

(ツバキ科)



もうすぐ春です。ヤブツバキの花も熊野では、早い所で2月下旬から咲き始めます。春の木と書く「椿」は、日本で作られた文字です。ツバキの語源は「厚葉木」「艶葉木」ではないかと言われています。葉が厚くて艶があるところからきたようです。常緑高木で長寿のためか神聖で霊力のある木とされ、全国に神木とされる椿の巨樹や椿神社が多数あります。生活との関わりも深く、材は堅いため武器や家具などに、灰は媒染剤に用いました。2枚の葉で餅を包む椿餅は日本最初の餅菓子で、柏餅や桜餅のもとと考えられています。種子からは灯火用、頭髪用などの油をとりました。子供の頃、祖母の使う椿油のびんが

あつたのを覚えています。

花びらが5枚の濃紅色の花が標準ですが、色や形、大きさには変化があります。江戸時代には椿の大ブームがあり、自生種から多くの園芸品種が作られました。ツバキは、園芸品種をも含めた総称です。雄しべと花びらは基部でくっ

ついているため、花全体がそのままポトリと落ちます。武士には首切りを連想させるため嫌われたようですが、群生地では赤いじゅうたんのように地面を飾ります。

町内の群生地は石嶽の観音様のある谷です。初神の新峠から海田へ下る道も、たくさんの花が見られるでしょう。町内では「かっぱ」と呼んでいました。

【写真・文 富沢由美子】

## 町の人口と世帯数 (前年同月比較)

平成14年12月31日 平成13年12月31日

26,281人...人口...26,216人  
12,836人... 男 ...12,822人  
13,445人... 女 ...13,394人  
9,785 ...世帯数... 9,626

## 熊野町の火災と救急 平成14年12月中

火災	2件
死傷	0人
救急	72件
搬送	70人

## 火災と救急の通報は119番

その他、消防の問合せ・相談はこちら  
海田地区消防署熊野出張所  
TEL854-1103

## 今月の題字



熊野高校2年生 小原 美加さん

